

事務事業名 ファミリーサポートセンター事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：328

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030212-01-00
基本事業：	03	地域における子育て支援	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	急用時等に子どもを預ける場所がある又は人がいる保護者の割合 他の親子と交流している乳幼児をもつ保護者の割合		担当課	子育て支援課
			担当係	子育て支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成14年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
生後3か月から小学校6年生までの子を持つ市民		<事業の内容> 児童の預かりにおける登録会員同士の有償ボランティア活動の支援。 （会員間の調整を行う。） <会員の種類及び要件> ・おねがい会員（会員登録と学習会を1回受講した人） ・まかせて会員（市内在住で自宅で子どもを預かることができる人。会員登録と学習会を4回受講した人。 幼児安全法は必須） <活動内容> ・保育所、幼稚園、学校の送迎及び前後の預かり。 ・習い事の送迎及び前後の預かり。 等 <利用料金> ・月～土（祝日除く）7時～19時：1時間700円 ・上記以外の時間：1時間900円				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
地域において育児の支援を受けたい人（おねがい会員）と、育児の支援を行いたい人（まかせて会員）の、相互援助活動を支援し、保護者の子育てを支援している。						

4. 成果（簡易評価は未記入）

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
子どもの預かり件数	件	981	1,316	1,300	1,350			1,300
まかせて会員登録数	人	224	221	230	235			230

5. コスト

事業費	計	千円	4,952	5,159	5,553	6,179		
	国	千円	1,333	1,333	1,333	1,333		
	県	千円	1,333	1,333	1,333	1,333		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般	千円	2,286	2,493	2,887	3,513		
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費	千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	5,752	5,968	6,360	6,179			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）

あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況> 子どもの預かり件数は、毎年1,300件前後で推移している。 <原因> H29年度は、定期利用者が少なかったため減少していたが、H30年度については、例年の水準に戻ったため件数が増加した。
--	---

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）

対象動向	増加	類似事業	なし	学習会等の場を活用し、事業の周知啓発をさらに行い、まかせて会員の増加につなげていく。
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり	
成果向上余地	中程度			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）

改善方向性 維持 見直し 廃止 事業終了

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
地域において育児の相互援助活動を支援するため、筑紫野市ファミリー・サポート・センター事業を実施することにより、子育てをする者が仕事と育児を両立し、安心して働くことができるような環境を準備ために、平成14年度に事業を開始した。	子ども・子育て支援交付金対象事業